

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
<http://www.dosyakyuou.org/>

第110号

応募要領の変更にご注意ください

要項の発送は十月中旬に

■審査委員長は田村健太郎氏

去る七月十二日開かれた選考委員会(谷口勲夫、片村洋市、斉藤ただし、河江利幸各氏)の意向を受け、九月三日の実行委員会において、第五七回写真道展の審査員が決まりました。

- ・審査委員長は田村健太郎氏
- ・招聘審査員は谷口勲夫、岡本洋典の二氏
- ・従来の常任審査員は会友奨励賞の選考のみを担当し、「名称も「奨励賞選考委員」と変わります。新たに田嶋英夫、大崎和男の二氏が加わり、橋本博、志賀芳彦、武藤省吾、田村健太郎、中野潤子、山崎隆志(道新写真部長)の八名です。
- ・当番審査員は「審査会審査体制Aグループ」です。ただし、今回より函館の二審査員のうち吉江和幸氏がAグループのメンバーとなりません。また五十六回展に都合で

欠席した中川祐治氏が加わり総勢二十九名による審査となります。

■応募要項で次の点が変わります。

総会で検討事項となっていました。公募展の応募点数について、役員会で慎重に検討した結果、従来の無制限であった出品点数を制限することにしました。

写真道展が求めているのは未発表の創造的な写真です。従来何年も同じ作品が応募されることを問題視する声が上がっていました。また、無制限の出品による写真の審査や受付、返却事務に多大な労力を要していました。これらの点を改善するために、応募点数は一人三部門を通して三十点までとすることにしました。ただし、出品点数による出品料の変更はありません。

■応募期間は十日間

従来は「作品応募要項」が発表されてから締め切り期限まで、かなりの期間がありました。事務局の作品の保管、管理の問題上、受付期間を短縮して二月一日から十日までの十日間とします。

作品の送り先は前回と同じく道新文化事業社事務局宛です。

■入選楯を廃止し、

入選数を十九点増加

諸般の事情から、道展会計の先行きは大変厳しいものがあります。今後、これまでにない新たな支出も見込まれます。今回から入選楯を廃止し、軽減された経費の一部で入選枠を十九名増やすことにしました。

これで道展の入選・入賞者数は二五〇名となります。

■一般応募者返却料は減額

出品点数を制限することで、人件費、郵送費の負担が軽減しますので、一般の応募者の返却料を五〇〇円減額し、二、〇〇〇円とします。

■展覧会は一度で展示

第五十四、五十六回展は富士フォトサロンの会場の関係で、二回に分けての展示となりました。

今回は、道新ぎやらりーで開催しますので三部門の写真と同時に展示することが可能となりました。是非沢山の方に道展の全作品を同時に見ていただきたいと思えます。

心に残る旅がある

心の印画紙に焼き付けたい旅があります。
旅の出会いはフォトジェニック。
カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは
TEL(011)241-6401

ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

営業時間
9:30~18:00
年末年始を除き年中無休
12/30~1/4は休業

旅行企画・実施
安心と信頼の

道新観光

〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内